

R3年度ふるさと創造資金活用事業成果検証について

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	現状値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
1	川口市	女性の活躍・創業支援事業	起業に関心がある女性向けの各種講座等を開催し女性の起業支援及び支援ネットワークを構築することで、「女性が起業しやすい街・川口」のイメージの定着を図る。SDGsの目標である「ジェンダー平等を実現しよう」、「働きがいも経済成長も」の推進を目指す。	ソフト	起業に関する各種相談会に参加する女性の数	5人	20人	24人	A	
2	蕨市	蕨市×「さよなら私のクラマー」 コラボプロジェクトによる魅力発信	蕨市が舞台となっている女子サッカー漫画「さよなら私のクラマー」とのコラボプロジェクトによる魅力発信を通じて、まちのイメージアップを図るとともに、若年層を中心にシビックプライドの醸成を図る。	ソフト	蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていると思う市民の割合	71.4%	73%	71.8%	C	新型コロナウイルスなどの市民生活への不安感から、事業効果が成果指標に十分反映されなかった
3	戸田市	東京オリンピック・パラリンピックを契機とした「ポートのまち戸田」推進事業	東京2020オリンピック・パラリンピック大会と聖火リレーの気運を高め、本市のスポーツ参画人口を拡大させるとともに、「ポートのまち」、「聖火台のあるまち」としてのまちへの愛着を向上させる。	ソフト	オリンピック・パラリンピック関連事業への参加者数	1,047人	5,270人	5,230人	A	
4	朝霞市	「朝霞でぎゅっと！」オリンピック・パラリンピック事業	東京2020大会で射撃の会場市になる中で、多くの市民が東京2020大会に参加することで、市民の機運醸成を図るとともにシティ・プロモーションに繋げる。	ソフト	朝霞市おもてなしボランティアの参加者数	385人 (登録)	385人 (活動)	285人 (活動)	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響
5	志木市	川を舞台とした地域活性化と健康増進事業	「川の国埼玉はつらつプロジェクト」の整備にあわせ、魅力ある水辺空間に新たな人の流れを創出し、健康増進にも資するウォーキングコースを整備する。	ハード	いろは健康ポイント事業への参加者数	2,911人	3,000人	3,224人	A	
6	富士見市	東京2020プロジェクト推進事業	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセルビア共和国のホストタウン・共生社会ホストタウンとしてセルビア人やオリンピック・パラリンピアンとの交流を図り市民の心に残るレガシーを創出する。	ソフト	セルビア共和国のホストタウンであることを認知している人数	4,342人	5,332人	5,256人	A	
7	三芳町	SDGs推進事業	SDGsに取り組む官民学がつながり合い、持続的好循環を生み出すきっかけとなるイベント「みよしSDGsアワード」及び広くSDGsについて周知する「SDGsシンポジウム」を開催する。	ソフト	町SDGsページアクセス数	1,247回	2,000回	2,790回	A	
8	春日部市	インフラツーリズムを活用した誘客推進事業	首都圏から日帰りできる立地条件を活かし、国内外から注目されている「首都圏外郭放水路」を核としたツアーや観光PRの実施により、来訪者の増加、認知度向上、リピーター獲得を目指す。	ソフト	イベント等及び施設の入込客数	1,888,816人	1,999,000人	729,789人	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響
9	春日部市	SDGs未来都市かすかべ普及推進事業	市民や事業者も巻き込んで持続可能なまちづくりを推進するため、SDGsの理念を盛り込んだ施策を総合的に推進する。	ソフト	かすかべSDGsパートナーズ会員数	67者	120者	144者	A	

R3年度ふるさと創造資金活用事業成果検証について

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	現状値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
10	草加市	未来につなぐ「草加の輪」プロジェクト	東京2020大会の感動を市全体で共有し、スポーツへの関心を高めるとともに国際交流を深める。	ハード	①スポーツへの関心度 ②コロンビア共和国を身近に感じるようになった市民の割合	-	①60% ②60%	①70.7% ②85.3%	A	
11	越谷市	スポーツ振興をはじめとする地域活性化に資する市立総合体育館改修事業	越谷市はバスケットボールの盛んな地域であり、その活動拠点の中心となる越谷市立総合体育館の利便性・機能性を向上させ、多くの大会やイベントの開催により、市民の観戦機会を増やし、さらなるスポーツ振興の機運醸成へとつなげる。	ハード	第1体育室（メインアリーナ）の来場者数	41,917人	50,000人	166,031人	A	
12	三郷市	ギリシャホストタウン推進事業	ギリシャ共和国とのホストタウン交流の推進及び東京2020大会に向け、気運を醸成するとともに、大会前後のローカルレガシー形成を目指す。	ハード	専用Facebook「いいね！」総数	550 いいね！	880 いいね！	1,890 いいね！	A	
13	吉川市	市制施行25周年 なまずによる魅力発信事業	「（仮称）よしかわまるわかりブック」、なまずの日に合わせた「なまずのぼり」、及び市民との協働によるなまずアートの制作を行う。	ハード	市への愛着心向上度	73.3%	76.3%	75.20%	B	まるわかりブックは転入者へ配布したが、転入者以外にも積極的に配布するなど発信方法に工夫が必要だった
14	鴻巣市	花と緑の魅力あるまち創造プロジェクト	令和2年12月制定の「花と緑の都市宣言」を踏まえて、花と緑を生かしたまちづくりを継続的に推進、展開していくためのスタートアップとして、全世代が参加できる事業を行う。	ソフト	鴻巣市産の農産物や花を市内店舗や直売所で購入している市民の割合	78.0%	80.0%	79.6%	A	
15	北本市	「縄文銀座きたもと」を軸とした歴史文化の魅力発信・向上事業	日本文化を気軽に楽しめることで若い世代に人気のwebメディアと組み、全国でも屈指の縄文遺跡の密度を有する北本の縄文文化を中心にPR、知名度向上を図る。	ソフト	WEBサイト掲載記事ユニークユーザー数（閲覧者数）	0人	30,000人	35,026人	A	
16	伊奈町	「みんなの広場」整備によるバラのまち推進事業	「バラのまち伊奈」としての魅力アップを図るため、バラ園のある町制施行記念公園に屋根付きのステージを備えた多目的に使えるイベント広場を整備する。	ハード	イベント来場者数	105,667人	126,800人			R6年度検証予定
17	坂戸市	ミツバチプロジェクト推進事業	ハチミツを商品化する採蜜室を環境学館いずみ内に設置し販売するほか、ミツバチに関する講座の開催やハチミツを使ったレシピや商品を開発し効果的に事業をPRすることで、取組に協力する市民の輪を広げる。	ハード	ミツバチボランティアと協働により採れるハチミツを商品化した販売個数	-	30個	44個	A	
18	鶴ヶ島市	シビックプライド醸成事業	令和3年9月1日に市制施行30周年を迎えることを契機として、市の地域資源を活用した市民参加型の事業を実施するとともに、市の魅力を発信することでシビックプライドの醸成を図る。	ハード	事業に参加する団体・活動回数・参加人数の各要素の累計	-	3,000人	2,073人	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響

R3年度ふるさと創造資金活用事業成果検証について

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	現状値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
19	滑川町	大河ドラマを契機とした滑川町の魅力発信事業	大河ドラマの登場人物である比企尼の館跡を案内する看板・のぼり等の設置、町内産の谷津田米の販売促進物の作成、郷土の歴史を伝える紙芝居による啓発等の広報事業を実施する。	ハード	谷津田米販売額	6,320千円	7,320千円	9,898千円	A	
20	小川町	東小川住宅団地再生事業	全国初となる改正地域再生法の地域住宅団地再生事業を適用して学校跡地の有効活用を中心とする地域再生の枠組みを官民連携で構築し、多世代共生住宅団地の普及モデルを創出する。	ソフト	学校跡地に進出が決定した民間事業者数	0者	4者	4者	A	
21	小川町	新しい働き方×地域の担い手×関係人口創出事業	歴史的建造物である「石蔵」に整備したサテライトオフィスの入居企業の社員を中心とした地域関わり隊により、歴史的建造物を巡るまち歩き等のイベントを実施し、町の魅力を発信する。	ハード	①サテライトオフィス入居企業数 ②地域関わり隊が行った地域活動数	-	①4社 ②4件	①4社 ②10件	A	
22	川島町	川島町地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊員の活動を通じて、町内の地域資源の価値向上及び新たな資源の開発を図り、町の認知向上、関係人口の拡大、事業者の所得向上等を実現し、地域を活性化する。	ソフト	町ふるさと納税の寄付額	4,000万円	7,000万円			R6年度検証予定
23	吉見町	水と共に暮らす町を知る拠点づくり事業	川の国埼玉はつらつプロジェクトにより「文覚川」沿いに遊歩道が整備されることに合わせ、さくら堤公園に地元住民やサイクリストのための親水空間を創造する。	ハード	文覚川に対する満足度	3%	45%	47%	A	
24	ときがわ町	ときがわ町小倉地区活性化促進事業	国指定史跡である小倉城跡の周辺整備を通じて、歴史と自然景観を一体的に活かした環境をPRし、近年の山城ブームやコロナ禍のマイクロツーリズムを背景とした新たな観光拠点として活用する。	ハード	年間小倉城跡来場者数	2,000人	3,000人	3,900人	A	
25	比企市町村推進協議会	大河ドラマを契機とした誘客宣伝事業・地域振興事業	令和4年放送予定の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機として発足した比企地域の9市町村等で組織する推進協議会を通じた観光振興及び地域の魅力発信。	ソフト	歴史・観光コーナー設置数	0か所	30か所	55か所	A	
26	所沢市	東京オリンピック・パラリンピック推進事業	東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成及びホストタウン（イタリア）のPRを図る。	ハード	市民の認知度	23.3%	30.0%	44.7%	A	
27	飯能市	水と緑の交流拠点 名栗地区観光資源魅力向上・発信事業	「さわらびの湯」の今後の発展的展開方法について調査するとともに、ノース名栗の今後の継続的な集客を勢いづけるための「魅力発信事業」を実施する。	ソフト	ノース名栗利用客数	55,000人	77,000人	122,280人	A	

R3年度ふるさと創造資金活用事業成果検証について

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	現状値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
28	狭山市	新狭山地区活性化事業	新狭山地区において、学生、自治会、商店主等様々な地域プレーヤーを巻き込みながら、地域への愛着醸成と買い物を通じた地域の活性化を創出する。	ソフト	独自イベントやセミナーで地域に関わったプレーヤーの延べ人数	30人	200人	180人	A	
29	狭山市	安全・安心な“狭山流おもてなし”運営事業	東京2020大会に市民が参画することで、市民自らが市の魅力をPRし、レガシー創出を図る。	ハード	狭山市オリンピック準備室公式ツイッター発信における令和3年度の総インプレッション	53,211回	58,000回	818,857回	A	
30	加須市	女子野球タウン認定を契機とした加須市の魅力発信事業	令和2年11月の女子野球タウンの第1号認定に伴い、女子野球を推進し、加須市全体のスポーツ振興につなげる。	ソフト	講演会の観客数	-	700人	352人	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響
31	羽生市	ハーブ農園整備事業	各種のハーブを取りそろえたハーブ農園を羽生水郷公園内、北側花壇に整備、「植える」「育てる」「収穫する」の参加型ワークショップを開催する。	ハード	さいたま水族館、キャッセ羽生、羽生チャレンジファームの集客数	275,269人	303,000人	324,373人	A	
32	久喜市	地域の魅力再発見・未来共創事業	行政と市民が協働で持続可能なまちづくりを進めていくため、久喜市の未来を市民と共創することを目的とするイベントを開催することで、市民に広くSDGsを知ってもらいながら、久喜市の未来を一緒に考えてもらう。	ソフト	SDGsに対する理解が深まったと回答した参加者の割合	-	50%	82%	A	
33	宮代町	西原自然の森 福祉・芸術交流拠点化事業	貴重な緑を有する西原自然の森に福祉・芸術拠点を創出し、町内外の人々による様々な交流を生み出すことにより、町の魅力を発信し、町内外からの交流人口の増加を図る。	ソフト	交流スペース利用者数	-	3,000人	3,556人	A	
34	熊谷市	(仮称)熊谷ラグビーギャラリー設置補助事業	(仮称)熊谷ラグビーギャラリーを建設し、「ラグビータウン熊谷」をより強気に発信することで市のイメージアップと地域活性化を図る。	ハード	「試合会場で観戦する」という市民の割合	15%	25%	14%	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響
35	深谷市	渋沢栄一ひとづくりカレッジプロジェクト	「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」構想の実現に向け、栄一翁の想いを体現する企業によるイベントを実施し、栄一翁顕彰のさらなる推進及び地域の活性化を図る。	ソフト	渋沢栄一ひとづくりカレッジプロジェクト参加者数	-	100人	351人	A	
36	寄居町	寄居町地域おこし協力隊事業	移住・創業希望者向けに相談窓口を設置するとともに、HPを新たに開設し町内の情報発信を行う。また、中心市街地の魅力向上・集客促進を図るためのイベントを実施する。	ソフト	移住・創業に関する相談者数	2人	25人	30人	A	

R3年度ふるさと創造資金活用事業成果検証について

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	現状値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
37	寄居町	寄居レガシー創出プロジェクト 2020	東京2020オリンピック・パラリンピックにおける ブータン王国のホストタウンとして、同国と継続的な交 流を行い、町のスポーツ振興、教育文化の向上および地 域振興を図る。	ソフト	寄居町のメディア露出件数	1,470件	1,617件	348件	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響
38	本庄市	移住・定住促進に向けた戦略的 シティプロモーション事業	新たな働き方・住まい方に対し、戦略的アプローチによ る移住・定住促進を図る。	ソフト	本庄市移住情報サイトの閲 覧件数（日平均）	30人	60人	208人	A	
39	神川町	魅力ある水辺空間づくり事業	水に親しむ拠点づくりとして、神流川水辺公園に水の色 をイメージした遊具を整備するとともに、安全性のある ウッドチップ舗装を施す。	ハード	道のオアシス神泉年間利用 者数	14,000人	14,700人			検証中
40	横瀬町	横瀬町縦横無尽散歩	「日本一歩きたくなる町：よこぜ」を広くPRし、 ウォーキングを新たな観光目的として定着させ、誘客を 促すとともに町民のウォーキング参加へのきっかけを作 る。また、横瀬町内を散歩する人たちの増加により人的 交流の促進を図る。	ハード	年間入込観光客数	710,000人	755,000人	672,000	C	新型コロナウイルス感染拡大の影響
41	小鹿野町	小鹿野歌舞伎かつら師継承・育 成事業	町の伝統文化である「小鹿野歌舞伎」で用いられるかつ らの担い手（かつら師）の事業継承と後継者育成を図 る。	ハード	新たにかつら師を担う人材 としてかつら手入れ等に通 年で携わった人数	-	1人	1人	A	